

# 保育所における自己点検・自己評価

- A : たいへん良い
- B : 良い
- C : 一部検討を要する
- D : 改善を要する

項目	内容	評価				意見・改善策		
		A	B	C	D			
保育目標について	(1) 保育目標を具体化し、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				保育所保育指針に沿った目標を立て、細かく援助や配慮を個別で行った。毎年同じ目標ではなく、その都度変えて行くことが必要と考える。		
	(2) 設定した重点目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	○				子どもの個性や成長、育ちをしっかりと把握し個人面談等設け、意向や願いを伺う機会を作った。		
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				年間や月案、週案、個人案など発達に応じて作成している。		
	(2) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	○				職員から上がってきた改善点などをすぐに吸い上げ、安全で快適な環境設定を図ることが今後も引き続き必要である。		
行事について	(1) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				感染症の影響で変更や中止を余儀なくされたが、子ども達の為に出来ることを精一杯やるという思いで職員一同協力して行った。		
	(2) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			保育園として行事の方向性を見直しながら、子ども達が心から楽しめるものを会議等開催し考慮していく。		
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になるよう努力しているか。		○			園としての運営を強固なものにするには、職員各々が自立し、調和を図ることが出来ると更に仕事も能率良く合理的に進めていける。	
		(2) 職務内容を理解し、協働できる体制になるよう努力しているか。	○				職員同士よく話し合い、相手の思いに気づくことで日々の保育や付帯業務に関しても助け合い、譲り合う体制になっている。	
		(3) 割り当てられた係や仕事を完遂する努力をしているか。	○				日々の保育業務以外での時間を用いて、一生懸命割り当てられた係や職務を環推する努力を惜しまずやっている姿が見られる。	
	運営	(1) 自己の職責を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○				個々がそれぞれの職務を理解しており、助け合いながら日々自己研鑽に励んでいる。	
		保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような、具体的保健対策を行っているか。	○				看護師や園医と連携を図り、最新の感染症周知と共に保健指導の下対策を行っている。
			(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				毎月1回、様々な想定の中で子どもたちを災害や不審者から守る計画を立てて、職員一丸となり訓練を実施している。
			(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○			保健日よりや園だよりの配布物やおたより帳など通して共有し、必要に応じて個人面談を実施している。
			(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○			地域の小学校や保育園、市役所など行政との連携を図り子どもの安全確保に努めている。
研修	研修	(1) 資質向上及び自己啓発に努めるための研修会には積極的に参加し、自己研鑽に努めているか。			○		状況に応じて可能な限り積極的に参加していたが、前年に比べ開催が少なく残念である。園内では課題に沿ってワークショップも都度行っている。他の保育士の意見や思いを知ることで、自分を客観的に振り返ることが出来、自己研鑽に繋げている。	
		(2) 研修会、講習会、地域におけるボランティア活動に興味を持ち、自ら積極的に参加しているか。			○			

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
情報について	(1)乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				個人情報は外部に漏れないよう取り扱いに十分注意し、職員の守秘義務も徹底している。	
	(2)各表簿は、適正な時間・方法で作成、処理しているか。		○			保育時間や内容によっては場合により多少の時間は生じる為、今後バランスを考えていく必要がある。	
施設・設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行い、不都合が生じた場合には迅速な報告・対応・処置を行っているか。		○			毎月各項目に基づいてその月の担当職員が細かく点検をしている。ヒヤリハットなど挙げて事故防止に努めている。	
	(2)不審者等に対する周到的配慮を行っているか。		○			不審者訓練を年に数回行っており、様々な場面での想定を予想し、実践を通して職員間で周知している。	
開かれた保育所づくり	家庭・地域との連携	(1)保護者や地域の人たちと連携しているか。		○			日々の会話の中で子育てに関する思いを共有している。地域の方にも笑顔で挨拶をし、保育園への温かなご理解やご協力を頂いている。
		(2)乳幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。また、その意義を理解しているか。			○		保育園の行事や園庭開放は国全体の感染症の蔓延で難しかったが、実習生を受け入れる事によって社会的に貢献できた。
		(3)地域におけるボランティア活動に積極的に参加しているか。また、地域の文化や生活に触れているか。		○			区の作品展などには積極的に取り組み、他の園の楽しい情報も知ることが出来た。
	子育て支援の連携	(1)地域の子育てセンターとして、保育園の実績や状況に応じながら事業を計画し、積極的に実施しているか。		○			子育てセンターの機能はないが、来年度は園庭開放や園見学を受け入れられる状況になってほしいと願う。
		(2)地域に住む子どもどうし、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行う意義を理解しているか。また、交流を図ることに前向きであるか。		○			
	外部評価	(1)地域の保育園理解に積極的に努めているか。また、保護者の意見を知る努力をし、相互の連携を図り、保育に反映させているか。		○			屋外で行われる行事の際は必ず近隣の住民の方へお手紙を出しご理解いただいている。保護者の貴重な意見は真摯に受け止め保育により良く反映していく。